

各位

土浦一高探究学習推進室

R04 探究学習スキルアップ講座Ⅲ_事後アンケート（結果）

実施日：令和4年7月12日（火）

場 所：土浦一高（各教室）

講 師：筑波大学の大学院生 6名

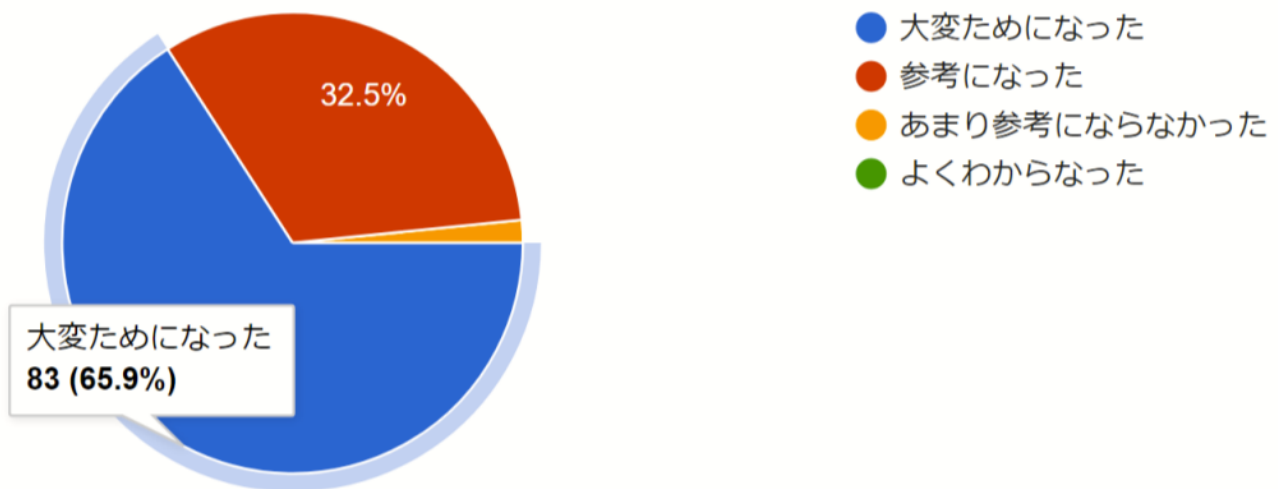
目 的：(1)大学の研究と探究学習との繋がりについて知る。

(2)探究学習における具体的な仮説検証方法について大学生から助言を頂く。

対 象：高校1年生 240名

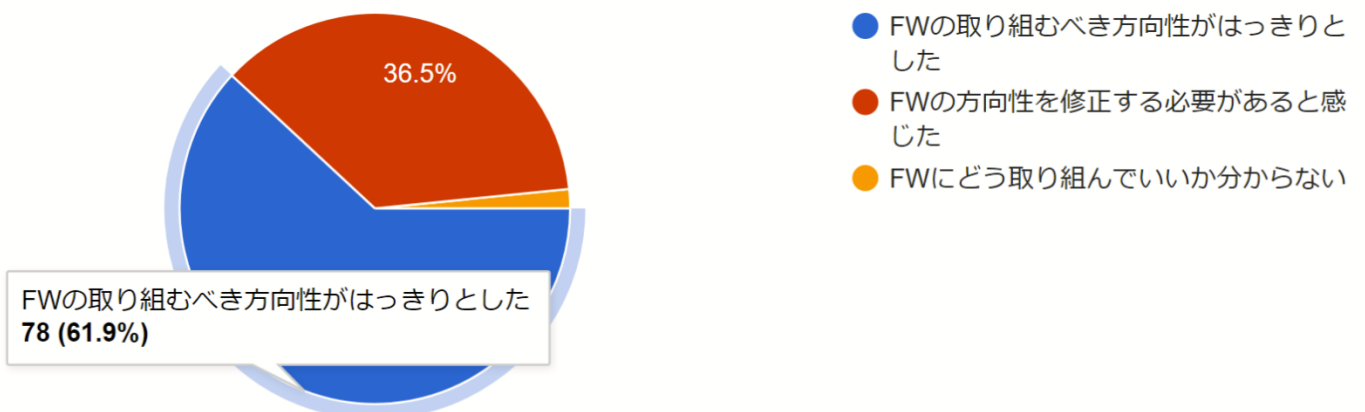
回答数：126（回答率50.25%）

1 筑波大学の学生さんから助言を頂いた感想として最も近い感想を、一つ選んでください。



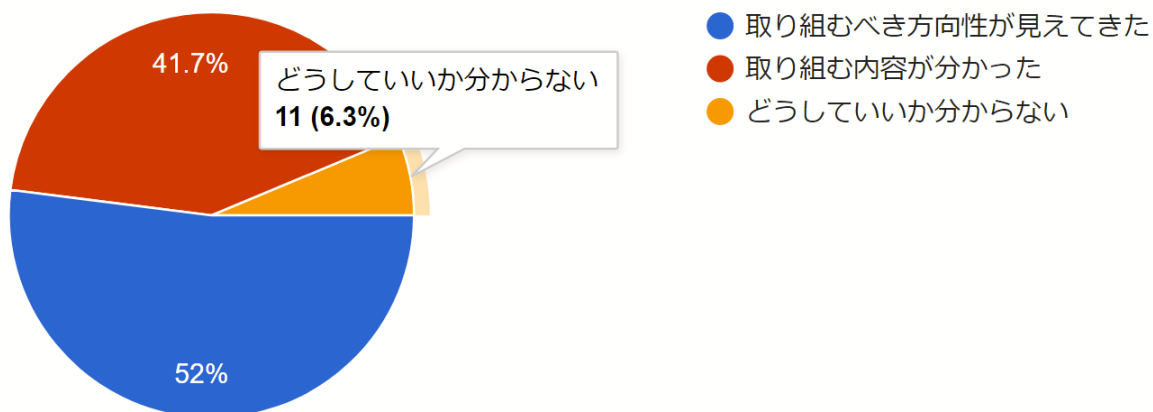
2 夏休みの探究学習におけるFWについて、本日の講座を受け、取り組むべき方向性が見えてきましたか。最も近い感想を、一つ選んでください。

（図1）7/12実施 アンケート



(図2) 5/10実施 アンケート

Q 探究学習について、探究の方向性が見えてきましたか。



(図2)は5/10実施の探究学習スキルアップ講座Iにおけるアンケート結果である。

夏季休業前に実施した3回のスキルアップ講座を通して、「探究学習の方向性が見えてきた」、「取り組む内容が分かった」と答えた生徒が合計98.4%と前回に比べて4.7ポイント増加した。

また「どうしていいかわからない」と答えた生徒の割合は1.7%と前回に比べて4.6ポイント減少させることが出来た。

以上により講座を通して狙いどおりの効果が得られたものと考えられるが、夏休み前のFWに向けて、残り1.7%の生徒のフォローが必要である。

3 本日の講座を聴いて、学んだこと、考えたこと、これから取り組む探究学習について、自分たちの研究にどのように生かしていくかを、100字程度で簡潔に入力してください。(一部抜粋)

○最後のまとめにあったとおり、具体的な案を考えるにつれて視野が狭くなっていたので、もう少し考えを広げてより良いフィールドワークや仮説・検証方法を決めていきたいと思った。

○大学生からの助言を得て、フィールドワークに行く前に具体的にどのようなことを最終的な探究学習のゴールにするのかをはっきりさせてから質問しに行くことが大切だと思った。

○夏休みの探究学習におけるフィールドワークについて、具体的に計画を立てて、やることをしっかり明確にしてから取り組もうと思った。頂いた助言を参考にして、夏休みのフィールドワークやこれからの活動に取り組んでいきたい。

○仮説と課題を立てる際に、もう分かりきっていて誰でも知っているような仮説を立てるのはいいのかと疑問に思っている。

○大学生の方から仮説の立て方についてのご指摘を受けた。その一方で「企業だけでなく、家庭の場合も調査すること、また企業と言っても同形態の2つのもの(つまりスーパーなら別の企業のスーパーも)を調査していただくことを教えてもらった。今後仮説をより具体的にし、探究学習がしやすくなるように努めていきたい。

○本日の講座を聴いて、自分たちのFWの方向性をもっと細かく明確にしていく必要があると感じた。グループでの話し合いの時間が多く取れず、スプレッドシートに書き込んだ内容では不十分であるとは感じていたが、「仮定とFWの内容が合っていない」など詳しい助言をいただいたことで、今後自分たちのやるべきことが見えてきた。今回の講座でグループの志気が高まりFWに向けての話し合いも捗り、本当によかった。自分たちのテーマを追求できるよう、まずは基盤となる情報集めとアポ取りを頑張っていきたい。

○広い視野を持つことの必要性を強く感じた。私たちの班では身近でエコな暑さ対策を実証しようとしていたが、少し広い視点で考えると暑さのそもそもの原因や暑さにあえて抗わない方法など今まで無意識のうちに切り捨てていた観点を考えることができた。特にサマータイムに興味を持ったのでさらに調べてみたい。

○今日の大学生との交流により、自分たちの課題が少し大きいものだと気づかされた。大学生の助言により、具体的にどのような場所を訪ねたらいいのか、どのような検証方法をすればいいのか、まだ明確ではないものの想像できるようになった。

○探究のテーマの中で特に詳しく調べるものが二つから絞り切れておらず、方向性が曖昧だったが、アドバイスを頂いて、どちらにすれば良いかがはっきりした。自分たちの探究について発表したことで内容が改めて整理でき、学生さんからのアドバイスで、別の視点も見つけることができたと思う。

○自分たちの固定的な考え方で探究を進めることもよいことだが、似ている探究課題を掲げた班と一緒に意見交換してみることで、見えてくる角度が違ってくる。

○フィールドワークなどの探究活動で結論を出すことが目的ではなく、自分たちが今一番知りたいこと、興味があることについて探究することの重要さがわかった。テーマについてもう一度班で話し合いたいと思った。

○いろいろな班に対する大学生の方々のアドバイスを聞き、研究仮説が重要なんだと思った。班のみんなと話し合ってから研究する前に自分達の考えや意見をまとめておきたい。

○今回の講座を聴いて、自分たちの班の研究内容や研究仮説は具体性がなく、不十分であることを実感した。もっと研究内容を具体的にし、最終的に到達すべき目標を明確にし、班のメンバー全員が納得できるような結果を出せるように努力したい。

○質疑応答の際に、話し合いでは出てきたこともないような新たな視点からのアドバイスをいただけ、今後の方向性について考え直すことができた。今回いただいたアドバイスをしっかり活かせるように話し合いを重ねていきたいと思った。

○最終的な発表の方法まで考えてアドバイスを頂いたので、自分達の盲点だったことや、話し合いが不足していたことに気がついた。もっと班のメンバーと話し合う機会を設けて、仮説から発表方法まで煮詰めたい。

○大学生の方からのアドバイスを受けて自分たちのフィールドワークの方向性が偏っていることに気づいた。もともと計画していた環境方面の研究者の方だけでなく経済方面の関係者の方にもお話を聞きに行き自分たちの研究テーマからそれずに探究を深めていきたい

○自分たちとは違う目線からの意見をもらえて、大変意義のある時間になったと思う。フィールドワークをする上で、本当に必要なのかどうかなどをよく考えてより良いフィールドワークができたらいいなと思った。

○今回の講座を聴いて、自分たちの班の改善すべき点や、さらに追加で考えるべきところなどのさらに良くなるように何をすべきかがよく分かった。大学生の方に、改善案に関して具体的な事例を提示していただいたので、自分たちのこれからの研究について具体的な方向性がよりよくわかった。

○大学生の話聞いて、調査の方法の順番が大切だと言うことをアドバイスしてもらったのでもう一度自分達の研究を見直そうと思った。インタビューする時やアンケートをとる時の注意点を学んだ。アドバイスをもらって探究をいい方向に持っていけそうな感じがして、探究が楽しくなった。

○大学生の、自分たちとは異なる視点が面白かった。知識が豊富であるが故にできるアドバイスをくれた。そのおかげで、自分たちの立てた仮説の検証をするための方向性が見えてきた。

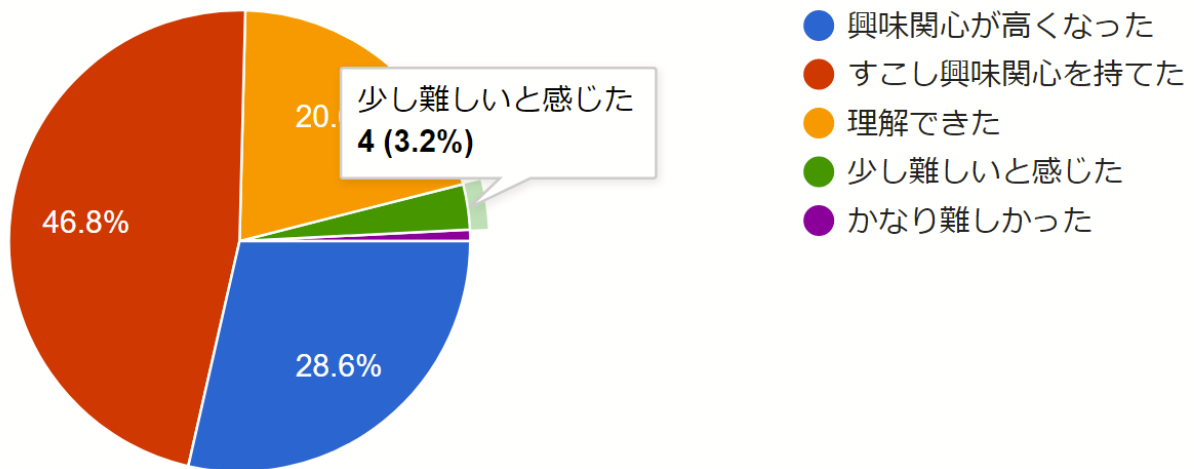
○フィールドワークの前の心構えとして、初めは自分達の疑問点しか用意してなかったけど、大学生の話聞いて、訪問前にいくつか案を用意してから行ったほうが良いということがわかり、とても参考になった。

○私たちは、海洋ごみについて調べていて近場なので霞ヶ浦と東京湾を対照実験してみようと思っていたが、淡水と海水では状況も異なってくるので大洗まで行くことも視野に入れたいが時間との兼ね合いを考えると難しくなってしまうと思う。院生の方々の話を聞き、自分のクラスの中でも似たようなことを探究課題にしている班もいたのでそこの情報交換も大切だと思った。情報交換することで互いに課題を深め合えると思う。

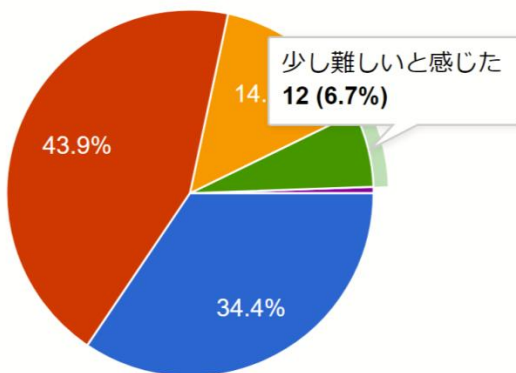
4 あなたは、本日の講座をととして、SDG s について興味や関心が深まりましたか。

最も近い感想を、一つ選んでください。

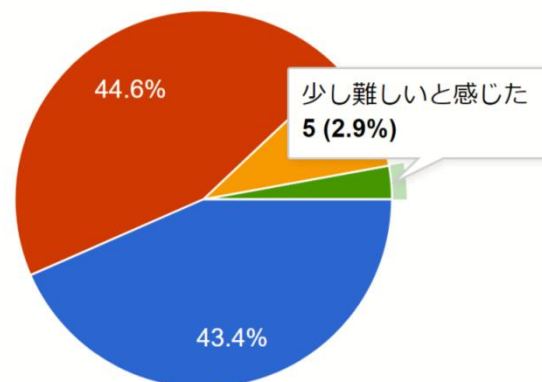
(図3) 7/12 実施アンケート



(図4) 5/10 実施 アンケート



(図5) 6/10 実施 アンケート



(図3～5) は同じアンケート調査項目の比較である。

3回のスキルアップ講座を通して、「少し難しい」、「かなり難しい」と答えた生数の数が少しずつ減少していることが分かる。3回の講座の実施を通して、全体としてSDG s に対する生徒の理解度は十分に高まったものの、難しいと感じる生徒の割合が一定数存在する事から、SDG s と問題解決との関りについて、その矛盾点に気が付き始めている生徒がいると思われる。

また興味関心が高くなったと答えた生徒がやや減少していることから、SDG s に対する新鮮味が薄れてきていると考えられる。